

会議名	(仮称)市民参画条例策定委員会グループ会議 土曜日グループ(要旨)		
日時	平成19年3月3日(土) 午後7時~9時	場所	市役所東館7階 701会議室
出席者	土曜日グループ 4名(片山、中野、森下、山本、)		
	職員 1名(和田)		
内 容			
<p>前回のグループ会議では論点6を中心に議論を進めたが、今回は論点1から順に議論を進める。</p> <p>1. 論点1 条例制定の意義 ~ どういうまちをつくりたいか ~</p> <p>各自のまとめた意見を基に、どのようなことを前文に盛り込むか絞り込んで行く。</p> <p>【前文をどう構成していくか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが西宮について思っていること、考えていることをキーワード的に盛り込んで行く。 ・答えは無い。グループとして出てきたキーワードを集約して運営委員会に出す。 ・西宮を将来に向かってどうしていきたいか、特徴をどうPRしていくか。 ・西宮の具体的、象徴的な名所(施設等)を入れる。 <p>【どんな前文がいいか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前文を読めば参画したくなる文 ・わかりやすい文 ・“キャッチフレーズ”みたいなものも必要ではないか ・どう市民を盛り上げるか、うけざらになる、人を集めるような表現 <p>【前文に盛り込みたいこと ~西宮のイメージは~】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園の付く地名が多い(かつてはリゾート都市であった) ・1/2が緑(ただし日常生活に近い所は少ない) ・いごちがいい、心地よいまち(これといった個性はないが、なんとなく住みやすい) ・名水100選にも選ばれた宮水と、10を数える大学(文教風土) ・典型的な都市型コミュニティ社会(全国でも稀なマンション乱立市) 			

2. 論点2 市民参画や協働の理念と基本原則

- ・様々な立場の人が参画すると利害関係とか生まれるので、筋を通しておかないといけない
- ・理念はすっきりしていたほうが良い
- ・“市民発、市民着”(市民から出て、市民へ戻る キーワードとして利用出来ないか)
- ・権限と責任を入れる必要があるのではないか 論点3になるのではないか

【理念】

- ・西宮の特性を生かした快適なまちをつくるため市民の総意が集結する制度

【基本原則】

- ・市の意思を作っていく過程における、準備段階・意思形成そのものの段階・意思決定時、また、その後の事態についても常に協働の形が保たれること

3. 論点3 市民の定義、範囲と関係者の責務

市民とは

- ・なぜここで市民の範囲を定める必要があるのか？
- ・この条例のおよぶ範囲を明らかにする必要があるのではないか
- ・観光客、例えば甲子園に来た人なども含む必要があるか？
- ・市民の範囲を広くとれば、参画の仕組みの問題も出てくる。
- ・宗像市の定義が総論ではないか。(市内在住、在勤、在学、市内に事業所を有する個人及び法人その他の団体、当該事案に利害関係を有する者)

役割、責務をどう考えればいいのか

【市民】

- ・各自治体もこの部分は努力義務としている。
- ・自分の行動に責任を持つぐらいは必要
- ・何も言わない市民はどうするか？何か言わず義務があるか。
- ・旭川市は“旭川全体の利益を考慮する”と述べている。“社会の利益”という概念は必要であろう。

【行政】

- ・行政の責務・役割は必要。

【議会】

- ・他市でも入っている所と入っていない所がある。
- ・和光市の第3条が市議会についてはいい。

連携について

- ・論点6と重なってくる項目ではないか。
- ・役割・責務で連携について簡単に触れて、具体的には論点6で述べる。

4. 論点6 参画協働のための基盤づくりや仕組みづくり

【地域コミュニティについて】

- ・宝塚市は小学校区に「まちづくり協議会」がある。参考になるのではないかな。
- ・現在、西宮市のコミュニティは混在している。(戦後すぐから活動した団体が地域によって違うため、今でも地域により力のある団体が違い、それを是正するために作られたコミュニティ協会も頼りとならず、「宮っ子」発行部隊に成り下がっている)
- ・公民館・市民館を中心にもっと活発化した情報発信すればいいと思う。公民館推進委員さんに働きかけるのはどうか。
- ・地域コミュニティ活性化には、既存の団体を動かすのか、新しい団体をつくるのか。
- ・どういう活動をしている団体を取り込んでいくのか。
- ・コミュニティ再編に向け、新しい地域コミュニティ組織をつくるか、従来からの組織を上手く使うか議論する必要がある。

次回までの宿題とし論点6は継続して議論する

5. 今後のグループ会議の進め方

次回(24日) 論点4~6まで議論

4月(7日) まとめ

3月全体会議が休会となることを想定

5. 今後の予定

- | | | | |
|------------|-------|----------|---------|
| (1) 全体会議 | | | 未定 |
| (2) 運営委員会 | 平成19年 | 3月10日(土) | 午後6時~8時 |
| (3) グループ会議 | 平成19年 | 3月24日(土) | 午後7時~9時 |